

このトトコラム 教えて！エリ先生

この時期の発達過程

両手でバランスを取りながらのよちよち歩きから、だんだんと歩行も安定し、歩ける長さも増えていきます。平坦な道から、傾斜の低い坂道を登ったり下ったりも少しづつ出来るようになっていきます。車通りの少ない道や歩きやすい道などを探してたくさんお散歩に連れて行ってあげましょう。

また、歩行が安定すると「物を持って運ぶ」ということも出来るようになっていくので、お散歩に行くときにお子さんが運べるサイズのバケツや袋などを持っていくと、葉っぱや小石など、落ちているものを拾って遊ぶということも出来ます。自然の中でお子さんの興味や好奇心を育ててあげられると良いですね。

指先を使った遊びもますます上手になります。積み木も2~3個積めるようになったり、積んだものを壊して楽しんだりします。

親指と人差し指、中指をつばめてつまむ、親指と人差し指ではさんでつまむなど細かい動きもできるようになってくると、小さなものをつけたのが楽しくなります。例えばビーズなどの小さなものをつまみ、穴の小さな一輪挿しなどの花瓶に落とすような遊びなども楽しめると思います。落とした時にチャリンときれいな音が鳴ると、繰り返しの遊びの動機づけになります。言葉も「ママ」「まんま」「パパ」など、簡単な一語文を話し始めます。

色々な物を指さしながら教えてくれるようになったら、物の名前を知りたい時期の到来！子どもは物には名前があると気づき、そのものの名前を知りたいと思っています。

「本当だ！お花が咲いているね。きれいだね」「りんごあったね。おいしそうね」など、お子さんが指さした物の名前を言いながら、たくさん語りかけてあげましょう。子どもは自分が見つけた物について大人とお話をしたり、一緒に共有出来ることにも喜びを感じています。

また、大人が喋っているとその口元を見ながら口元の動きをじっくりと観察している姿も多く見られるでしょう。まだ喋れなかったとしても、子どもは吸収している最中ですので、大人は口元の動きをゆっくりはっきり見せてあげると良いでしょう。周りの人たちが使っている言葉や語りかけられる言葉に興味があるので、毎日たくさんの言葉のシャワーをかけてあげることも大切です。

この時期のお悩み

歩行が完成したら、次は「高いところによじ登りたい！」というブームの到来！

段差のある所や高いところに、手をついてよじ登ろうとします。目で見たり、手で探りながら、「このくらいの高さなら登れそう」「後ろ向きで足からなら降りれそう」など、自分で見通しを立てながら、出来そう！と思うものには挑戦しようとします。

少し目を離した際にローテーブルの上や椅子の上などに登りに行かれてしまい、困ってしまう場面もあるかもしれませんが、子どもは何度もよじ登りに行きながら、どう動けばいいのか、自分の体の使い方を知ろうとしたり、たくさんのこと学んでいます。

テーブルなどに登られると困ってしまいますが、そんな時は例えば、高さのある台などに布団をひいて登り台やお山を作ってあげたり、公園で滑り台などに登らせてあげたりして代わりのもので「よじ登りたい」という欲求は満たしてあげられたらいいですね。一軒家のご家庭でしたら階段もおすすめですよ！

井上エリ

子どもの心の根っこを育むcocorone主催。
アドラー心理学とモンテッソーリ教育を活かした子育て講座をオンラインで開催中。
また、自身の保育士経験も活かしながら保育士向けの研修も行っている。
アドラー勇気づけ講師、モンテッソーリ教師、8歳と1歳の女の子と男の子のママ。
インスタグラム、ブログも更新中。



STAGE6
(1歳2ヶ月～
1歳4ヶ月)



保育園がつくる
子育てサブスクリプション

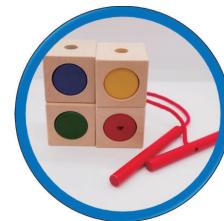
パッケージ紹介

1 シグナ (ネフ社)

白木の立方体から円柱をくり抜いています。円柱部分は赤、青、黄、緑の着色がされています。円柱を立方体の穴にはめ込む動作は、子どもは、大好きです。

「入れては出して」、「入れては出して」を楽しむ様子が見られそうです。また、ガイド棒付きの紐が付属しており、積み木や円柱にあいた穴に通して紐通し遊びもできます。

ガイド棒がしっかりとおり、穴も大きいので、初めての紐通しにもぴったりです。



2 フォームス (ジーナ社)

シンプル、だからこそ集中しやすく興味をそりやすい！を、そのまま実現したおもちゃです。1才前後から丸い形を見たら、思わず「はめたい」衝動に駆られるようにこの類の遊びを好む傾向が有ります。出来たら即、「次は三角をはめてごらん」と言いたくなるのが親心・・・ですが、子どもは『できる』ことを繰り返して【自信】を築き上げているかのようです。その自信が固まると、自然と次の形へとステップを上るようにチャレンジしていきます。「このブロックとこの凹みが同じ形だって、ちゃんとわかるよ！」と、覚醒しやすいのがフォームスのシンプルさの極み！子どもがはめ込めたその瞬間、いっぱい一緒に喜びを共有してあげてくださいね。。



3 プルトイ・フェリーノ (セレクタ社)

リング通しも、プルトイとしても楽しいセレクタ社のプルトイ・フェリーノ。「わんわん」「にゃあにゃあ」など、身近な動物とお散歩で出会うことも楽しくなってきたこの月齢に、「この間、犬がワンワンって元気に挨拶してくれたよねえ」と、【思い出して】共感することも大切なコミュニケーションの練習です。棒に挿す、という作業も、本体に車輪があることで動いてしまうことがあるので、【工夫】して動かないように支えておく経験にもなるかもしれません。支柱部分はゴムでつながっていて曲がるので、安心して遊べます。



4 マイファーストフォン (プラントイ社)

初めてのスマホ！たった1才でも想像力豊かなごっこ遊びを自らし始めているということですよね。その仕草はパパやママにそっくり(笑)。大人の「仕事」的な動きをよく見て真似する力は、そのまま生きる力を育むことともつながっていきます。真似っこは大事な成長の栄養です。拡大鏡とカラフルなプッシュダイヤルが付いていて、手指の運動能力・認知能力を高めます。



5 アニマルマーチ (エド・インター社)

優しい色合いのビーズと動物が楽しいルーピングです。丸・三角・四角・台形といった形のビーズを指でつまんでワイヤー上で移動させる動きは、手首をひねり柔らかく動かすことを自然と促します。右手と左手でビーズを持ち替えて連動させることで、自分で決めたゴールの方向に動かす。そうして出会った森の動物たちが、「あら、こんにちは」「どこ行ってきたの？」とお話の世界を引き出してくれやすいのが、このルーピングの特徴です。

絵本 りんごがドスーン

野原に大きなりんごが落ちてきた。もぐらがやってきて「むしゃむしゃおーうまい」。りすも、きつねも…みんなおなかいっぱい。おなかいっぱいの動物たちが並んで、食休み。

「みちゃんみちゃんみちゃん」など、食べているときの音ですら、楽しい。大きめな絵本なので見易く、字も少ないので小さいお子さんから楽しめます。ページをめくるたびに喜びとたのしさにあふれています。

絵本 ペンギンたいそう

「ぺんぎんたいそう はじめるよ。いきをすって～、はいて～。くびをのばして～、ちぢめて～。うでを ふって～、ぱたぱた ぱたぱた。おなかとあたまを びったんこ」。

水族館や動物園でおなじみのペンギン。そのユニークな動きや、伸び縮みをして姿かたちが変わる様子は、まるで体操をしているかのように見えます。

登場するペンギンは、大きさのちがう2匹のペンギン。（左側の小さい方がケープペンギン。右側の大きい方がキングペンギンです。）読みながら思わず身体が動いてしまう絵本です。

うた わらべうた

YouTube このトイ chで紹介しております。
QRコードからご確認ください。

